

令和6年度MATSUE観光戦略プラン推進委員会におけるご意見 一覧表

No.	ご意見の内容	該当事業・項目	該当頁	アクションプラン修正 または 今後の対応
1	観光戦略プランの中でも長期的に進めるものとかなり緊急を要するものがあると思うので、その部分を重点的に進めていくようにしないといけない。	アクションプラン全般	－	ご意見を参考に、令和7年度以降のアクションプランの示し方等について検討してまいります。
2	結果を示すのみでなく、経過(どういう取り組みをして結果がどうだった)も教えてほしい。そうでなければ、PDCAに置き換えることができない。			
3	結果だけでなく、ニーズやどういう経緯があったのかというプラスアルファを共有してもらえるとありがたい。			
4	観光戦略プランに掲載している内容について、「誰がやるのか」「いつまでにやるのか」が決まっておらず、形だけになってしまっている。目標数値の達成のために何をするのかということが大事。			
5	アクションプランについて、「誰がやるのか」「いつまでにやるのか」が曖昧になっている。			
6	観光消費額という目標に対し、設定しているKPIが多すぎて、グリップするのが大変ではないか。観光消費額を上げるためにはどの数字を上げていけばいいかを肝に置いていかないといけない。			
7	アクションプランの2年目、3年目について、ただ昨年と同じではなく「2年目はこうしたい、その次はこうしたい」というふうに持っていけるような目標であってほしい。			
8	進捗管理表の記載内容が抽象的でイメージしづらい。特に、2年目、3年目は同じ内容が羅列されており、もう少し、今年度はこうなるだろうという仮説を立てて、来年以降の実施内容も具体的に落とし込む方が良い。			
9	アクションプランの数が多く、精査が必要ではないか。アクションプランをまとめることがゴールになってしまっている。			
10	満足度について、「やや満足」は義理人情で付けられがちで、あまり意味がない。	KPI(観光客の満足度)	P5	数値は「島根県観光動態調査」に基づく「松江市観光動態調査」の満足度指標より引用しています。「満足」(11段階評価では9～10点)および「ほぼ満足」(11段階評価では7～8点)を合計した数値を指標としていましたが、今後は「満足」(11段階評価では9～10点)のみを扱うこととし、あわせて目標値も変更しました。
11	満足度も大事だが、リピーター率をつかむと良い。			リピーター率について、現状は「島根県観光動態調査」における島根県の訪問回数(県外客を対象)のデータはありますが、松江市独自の数字は把握できていません。何らかの形でリピーター率に関するデータ取得ができないか、検討したいと思います。
12	年末年始の渋滞対策やインバウンド対策等について、もう少し追記をしたい。	美保関エリアの魅力向上	P16	美保関地域観光振興協議会の結果を受け、アクションプランの内容を修正・追記しています。
13	「広島－松江間高速バス外国人割引」について、金額ではなくプロモーションの問題。松江観光協会HPの外国語対応ページに情報は出ているが、在住者以外に上手く広がっていないのと思う。取り組みを知ってもらうこと自体を強化していかないといけない。	インバウンド観光推進事業	P36	いただいたご意見について、国際観光課に共有しています。 「広島－松江間高速バス外国人割引」については、今年度から島根県と出雲市も参画が始まり、3年間程度は県下統一での制度継続が予想されるため、金額の変更等は難しいと思われませんが、アンケート回収率の向上に取り組み、来年の大阪・関西万博も含め、更なるインバウンドの誘客のため効果的なプロモーションの手法について検討してまいります。
14	インバウンドで電車で来る方、JRを使う方が多いということで言うと、岡山県からの誘客促進もすごく大事。			いただいたご意見について、国際観光課に共有しています。 外国人観光客(特に個人)がJRを利用し、周遊されるということは承知しております。岡山県を意識した誘客に引き続き取り組んでまいります。
15	今は別冊に掲載されているが、小泉八雲の120周年や「ばけばけ」で盛り上がっている機運を生かし、アクションプランに掲載しても良いのでは。	「怪談のふるさと松江」事業	別冊P5	令和7年度のアクションプラン策定に向けて、検討してまいります。
16	美保関や松江駅にバスの駐車場がない。観光誘客を図るうえで、改善が可能であれば期待したい。	快適に過ごせる環境づくりと利便性向上	－	美保関エリアについては、駐車場整備予定地の土地を昨年取得し、地域住民と対話を重ねながら、整備に向けて進めているところです。 松江駅周辺については、再整備に関して昨年12月に松江市と松江商工会議所が共同で「松江駅前デザイン会議」を設置し、中長期的な視点から松江駅前のあるべき姿についての検討を行っています。9月2日から9月17日の期間で意見募集を行っている松江駅前デザイン(案)の実施方針の一つとして「バスターミナルの再編」が挙げられており、いただいたご意見を担当課に伝え、今後の検討の参考にさせていただきます。
17	「ゴーストツアー」のガイド養成について、緊急に動いていく必要がある。	観光を担うひとづくりとおもてなしの向上	－	7月26日に、ガイドに興味をお持ちの方を対象とした体験会を実施しました。令和7年5月のゴーストツアーでのデビューを目指し、スケジュールを組んで研修を行っています。現在は基礎編として8回の研修を行っているところであり、終了後には続いてスキルアップ編の研修を予定しています。

令和6年度MATSUE観光戦略プラン推進委員会におけるご意見 一覧表

No.	ご意見の内容	該当事業・項目	該当頁	アクションプラン修正 または 今後の対応
18	満足できなかったと改善を求める観光客が居ることについて、何が課題だったか、それに対してどう改善ができるかということに地域のチャンスが隠れていると思う。	KPI(観光客の満足度)	P5	いただいたご意見については、担当部局と共有するとともに、観光戦略プランを実行する際に参考にさせていただきます。
19	今後インバウンドが重要となる中、山陰インバウンド機構と役割分担しながら、市としてどう取り組むか力を入れるべき。	インバウンド観光推進事業	P36	
20	県内の人と県外の日本人、近くのインバウンド(アジア)、遠くのインバウンド(欧米)と対象によってプロモーションがどのように効果が出てくるかは違う。朝ドラは県外客には効果があるが、インバウンドには響かない。			
21	インバウンドの数を増やそうとすると、近場の台湾や韓国から米子にどれだけ飛行機が飛ぶかということが一番手っ取り早いため、ここは頑張らないといけない。欧米のインバウンドなど遠くから誘客する場合も、時間がかかるとは思うが、今年来年の結果というよりは長い目で見て増やしていく。			
22	インバウンドという点で、国際会議の強化は必要。	コンベンション対策事業	P38	
23	出前講座がただの勉強ではなく、小さくても何か次のアクションに繋がって、県外あるいは海外のお客さんを受け入れるときの多様性が地域に広がっていく、裾野が拡大していくということがすごく大事。	観光の出前講座	別冊P17	
24	「日本の面影」が松江にあるか。大橋川沿いの柳や石灯籠などの景観は、行政としてしっかり守らなければならない。民間ではできない土台づくりは行政が早く行うべき。	歩きたくなるまちなみ整備	－	
25	国宝10周年や「ばけばけ」でお客さんがかなり増えると思うが、駐車場がない、トイレがない、などクレームが多くなる。市の方で早急に対応できるところは間に合うように整備していただきたい。	快適に滞在できる環境づくり	－	
26	飛行機で来られるお客様が多いが、大雨の時など、米子空港は動いても出雲空港はダメだということがよくある。米子から松江に向けての交通アクセスを増やすなど、お客様を拾える方法を検討してほしい。	移動の利便性向上	－	
27	従来の安い賃金で効果をあげるという形は通用しなくなってきている。個人の能力を高めていき、きちんと賃金を支払う、それだけのフィーを貰ってやるようなことでないとお客さんの満足度は得られない。今までと違う形のガイド養成をしていくことが必要。	観光を担うひとづくりとおもてなしの向上	－	
28	(小泉八雲の怪談を英語でスピーチするコンテストについて)海外の人に向けて、何かボランティアガイドではないかもしれないが、子どもたちを含めたうえで上手く広げていくなど活用してほしい。			
29	香港中文大学の学生は山陰の文化、歴史、食、環境、人々の暮らしといったものに非常に高い評価を覚えている。自虐的なイメージがあるかもしれないが、「広々として過ごしやすい」というところが癒しになると高い評価を得られており、自信を持っているのではと改めて感じている。			
30	「どんな街なのか」というイメージを内外で交えながら検討していく作業は、おそらくこれからも松江で必要になるし、あった方が良いのだろうという特徴がある街だと感じている。			
31	地元の人が喜ぶ観光を。地域の方もウェルカムだというまちづくりがすごく大事。			
32	閑散期の12月、1月、2月をどうしていくか、対策を考えていかないといけない。	オフシーズン対策	－	
33	人材育成や体制強化については、地域の関係機関との連携が非常に大事。	観光推進組織づくり	－	
34	DMOとして山陰全体を補完するような機能が必要。DMOが複数ある場合、指示系統に関する仕組みづくりは行政も入って作り込みが必要。			
35	早く専門人材を確保し、継続的に動けるようにしていただきたい。			
36	本気の民間が頑張って創意工夫をしていくことで観光消費額が上がっていくと思うが、それを行政が側面から支援していくフォーメーションなのかなと思う。	観光産業の担い手づくり	－	
37	観光も業であり、ビジネスに乗せていくことが重要だが、熱意がある民間の事業者を増やしていくことと、そういった民間の活力をどう生かしていくかというところに徐々にシフトしていくべき。			
38	商品化や流通に乗せる作業を担うDMOやDMCにいかにかパス回しをしていくか、想定をしていく必要がある。行政は仕組みづくりのための組織化を行うことが可能。産官学金を1つにまとめていって、どうビジネスに乗せていくかを考えていくことが重要。			
39	松江の観光は、イベントの特需において数字の上下がある。イベントはありがたいが、持続可能な、少しずつでも去年→今年→来年と数字が上がっていくようなものをベースに置きながら、そのイベントを受け入れるという形でやらないといけない。	事業全般	－	
40	観光戦略プランは非常に広範囲で、すべきことをよくまとめたものになっているが、いずれはどこまでを行政がしないといけないのかというところが出てくると思う。			
41	山陰の場合、長期滞在で各エリアを周遊するというのが大事だが、言うのは簡単で、調整が非常に大変。一般のお客様と富裕層とでユーザーを分け、関係機関と連携しながら、できるところはしっかり協調しながらやっていくのが大事。			
42	色々なイベントの見直しだけではなく、中止も検討する必要がある。			
43	コロナ後の影響やリバウンド効果を含め、色々なニーズも変わっているところがあると思う。過去に作った計画の達成に向けてアクションするのは大事だが、市場やマーケットの環境が変わっている可能性もあるため、現場のニーズや背景を特に注意して確認しながらPDCAを回す必要がある。			
44	(観光業に)従事している人が生き生きとやっていると、観光客も「いいところだな」「楽しいな」と思って、どんどん良い循環が生まれていくと思うので、観光消費額を上げていくというところはすごく大事。			